

【別紙様式】

<p>鹿児島県は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	地域公共交通燃料油価格高騰対策事業【R4.3月補正】		
総事業費 (千円)	377,217千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	377,217千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症の長期化及び燃料油価格高騰により厳しい経営環境にある各交通事業者に対し、引き続き事業継続がなされるよう支援を行う。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 路線バス：45千円×1,096台=49,320千円 タクシーオートガス車：10千円×2,800台=28,000千円 タクシーガソリン車：21千円×580台=12,180千円 代行：10千円×464台=4,640千円 トラック(大型)：9千円×9,668台=87,012千円 トラック(中型)：7千円×5,525台=38,675千円 トラック(小型)：5千円×1,386台=6,930千円 軽貨物：1千円×3,641台=3,641千円 航路：燃料潤滑油費高騰分から国支援相当額とBAF効果分を差し引いた額を各事業者毎に交付(9事業者99,440千円) 上記執行に係る補助金支払事務業務委託費：47,379千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 県内路線バス事業者：15事業者 県内タクシー事業者：397事業者 県内代行事業者：274事業者 県内航路事業者：9事業者 県内航空路事業者：1事業者 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 県内の各交通事業者(補助事業者、公営事業者を除く)</p> <p>④期待される効果 県内の地域公共交通の維持・確保が図られる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応(経済対策)との関係	<p>各公共交通事業者は、新型コロナウイルス感染症の長期化及び燃料油価格高騰により、厳しい経営環境にありながらも、事業継続を行っているところ。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大及び燃料油高騰の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		